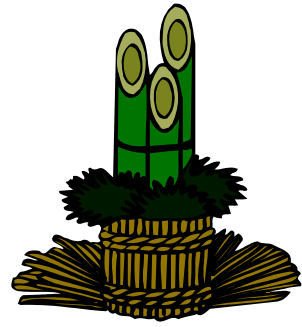




Nippon Club of the Triangle NEWSLETTER



「新年もちつき大会」のお誘い

日時：1月2日（日）12：30 受付開始（雨天決行）

場所：North Carolina Japan Center

705 Barbour Dr., Raleigh, NC 27603

参加費：日本クラブ・メンバーまたはそのゲストは無料

参加申し込み先：Mizobuchi mochi2005@aol.com

餅つき予定時刻：1) 1:00 pm 2) 1:45 pm 3) 2:30 pm

ご参加希望者は12月26日までに上記申し込み先に

● 貴方のお名前、参加人員

● 1) 2) 3) のどのもちつきに参加予定かを

Eメールでご連絡ください。

どのもちつき時間にも十分なトッピングを用意したいと考えています。

また当日この機会を活用して、メンバーシップを更新したいと思いますので、必ず受付にお立ち寄りください。その場で新規加入のお取り扱いもします。もしオンラインでの更新・登録をお望みの方は私共のウェブサイト <http://trianglejapanclub.org/> をご活用ください。トライアングル日本クラブへのメンバー登録は無料で、メンバーは今回の「もちつき大会」のような当クラブのイベント情報をニュースレターやウェブ、メーリングリストで入手することができるようになります。

メンバーになるためには日本人と限りません。日米の文化交流の趣旨にご賛同いただける方々なら、誰でも喜んでお迎えいたします。

主催：Nippon Club of the Triangle

施設提供：ノースカロライナ ジャパンセンター

Club News

★ 連絡網

<日本クラブの新ホームページ>

<http://trianglejapanclub.org/> 新しいアドレスです。日本クラブのホームページのアドレスが変わりました。ウェブ・ブラウザのブックマークを更新してください。

<日本クラブのEメールアドレス>

triangle_nippon_club@yahoo.com Eメールアドレスです。この日本クラブ・ニュースレターには、スペースの都合があり載せたいニュースを全て網羅することはできません。そこで新しいニュースや投稿記事、カラー写真などはこのウェブページに載せるようにしたいと思います。またリンク・ページもご活用ください。もし投稿のご希望やご意見などございましたら、Eメールでご一報ください。

<日本クラブのEメールリングリスト>

その他には、皆様方の日本、米国、ノースカロライナ州に関するご意見や、その他日常のもろもろのご意見を交換する場として、トライアングル日本Eメールリングリストがあります。このリストに登録するためには日本クラブのホームページのオンライン・レジストレーション・フォームを使うことが簡単な方法ですが、もちろん trianglejapan-subscribe@yahooogroups.jp宛てにEメールを送って頂いても結構です。

また、今回のような餅つきや、企画中のウイルミントンの「アゼリア花祭り」ツアー、ピクニックなどのご案内にも利用されます。

皆様からのご連絡をお待ちしています。

以上の担当は三浦晃央さんです。

★ 新役員紹介

鶴身 秀子

ご挨拶

末吉千鶴子さんに代わって Triangle Cha-no-Yu Club (TCC) の日本クラブ担当になりました。TCCができてわずか1年ですが、これまでに NC State, UNC, Duke, Enloe High School, Githens Middle School など沢山の場所でデモンストレーションをさせていただいてきました。これからも私たちのお茶を通じて、トライアングル地区に住む方々に少しでも日本に触れていただけたらと思っています。

よろしく願いいたします。

* 前任の末吉千寿子さんは、秋のラーレー・インターナショナル・フェスティバルで活躍されました。ご苦労様でした。新役員の鶴身さんは、同好会「トライアングル茶の湯クラブ」が2003年に発足した時から部長を勤められています。今は日本クラブに来る依頼が増え、月に2度ならず学校に出向くときもあるようです。



★ ADOPT-A-HIGHWAY <1月22日>

日本クラブの地域ボランティア活動の一つとして ADOPT-A-HIGHWAY (ハイウェイの清掃作業)があります。次回は1月22日(土)で、Glenwood Avenue/US-70 の所定の区間の清掃を実施します。16歳以上のクラブメンバーはどなたでも参加できます。参加人員が多ければ多いほど作業は楽になりますし、清掃もより完全になります。

ご希望の方はいつもどおりの集合場所、Eatman's Carpets の向かい側の Westborough Drive (8101 Glenwood) に 9:15 AM にお集まりください。清掃作業は 9:30 開始、約2時間ほどで終了する予定です。作業が終わったら飲み物とスナックがでます。ボランティアは作業用の手袋を持参し、長ズボンの着用をお勧めします。ぜひこの地域ボランティア活動への積極的ご参加を期待しています。当日お会いしましょう。

* モイヤーさんは、AAH を指揮しています。また、日本クラブの Cultural Affaire も担当しています。

★ 2004 インターナショナル・フェスティバル

岩島 好子

ボランティアの皆様、お疲れ様でした。ラーレー・インターナショナル・フェスティバルは、40を超える民族グループが集まるお祭りです。私にとっては4月から11月までの長い準備期間のあと、開催三日前からの会場づくりにいたるまでの息の長いプロジェクトでした。

開催中の11月5-7日は、延べ145名におよぶボランティアのご協力を得て、大成功を収めることができました。ありがとうございました。

日本クラブのインターナショナル・フェスティバルへの参加目的の一つは日本の文化紹介ですが、もう一つボランティア活動を通しての日本クラブの輪の広がりです。他の国々とは異なり、我々のプログラムには23名の日本人以外のボランティアも参加してくれました。

<Cultural Demonstration>

「ゆかたを着て見ましょう」、「折紙」、「日本字で名前書き」、の各プログラムを3時間ごとに交互に実施しました。訪れる人にも変化が楽しめたようですし、ボランティアした方々にも手伝いやすい時間の長さだったようです。横20フィート高さ8フィートのブースの壁を、真っ白なプライウッドで覆いました。着物、富士山、桜の花の写真などのディスプレイがこの白い壁に映え、とてもきれいでした。

「ゆかたを着て見ましょう」は、今年が初めての試みでした。103名がゆかたを着ましたが、これは3~4分に一人を着せていたこととなります。加藤二子さんのアイデアでデジカメで撮った記念写真はメールで送られました。Savannahさんと友達のJurateさんがゆかたを着て、パラソルをさしているかわいらしい写真は、日本クラブのWebで見られます。

「折紙」では、坪井美佐子さんが金曜日と土曜日の二日間担当してくださいました。初めてする折紙ボランティアのために、Webで熱心に折り方を研究してくれたようでした。フェスティバル終了後、「子供たちが、日本の折り紙にとっても興味があるのに驚いた」と、感想を述べていました。用意した500枚の折紙は、数枚しか残りませんでした。

「日本字で名前書き」は、一日の終了前の3時間程を当てたのですが、列が出来るほど人気がありました。自分の分だけでなく、家族の名前や親戚一同の名前を書いて欲しいという人もいました。

<Coffee House Performance>

琴と尺八の演奏を楽しんでいただけただけでしょうか。ここ数年、Hillsborough市にお住まいのLedbetterさんご夫妻が、琴と尺八の演奏のボランティアをしてくださっています。夫人のJanetさんは、現役の弁護士さんです。ご主人のClarenceさんは元弁護士さんで、今は演奏に専念していらっしゃいます。

<Ceremonies>

トライアングル茶の湯クラブ(TCC)のメンバー、近さんとかわいらしいお弟子さん、北村さん、鷹齋さん、それに金子さん達が着物姿でお手前を披露してくれました。冷や汗をかいた一場面もあったと後日談を聞かされましたが、とてもそんなふうにはみえなかったそうです。フェスティバルということから人の出入りが多く、お点前に集中しにくいという欠点があったようです。末吉さん、鶴身さんご苦労様でした。

<Adult Main Stage>

トライアングル太鼓グループが土曜日1回、日曜日2回の演奏をご披露しました。今回の曲目は「銚子早打ち」と「屋台ばやし」で勇壮なドラム音に「日本の音にしびれた」観客も多かったようです。

<Children's Performance>

やあ! の掛け声、覚えていますか。

Nanako Tsurumi, Yuki Wakiya, Ruth Tsujimura, Lucas Tsujimura, Takashi Nishihara, Lisa Couper, Sayoko Sueyoshi, Kaori Sueyoshi, Emi Mizobuchi の9人の子供達ボランティアが7月からの練習の成果を見事に発表しました。曲目は「清流登り打ち」で長良川を登る鮎の情景を表現したものでした。

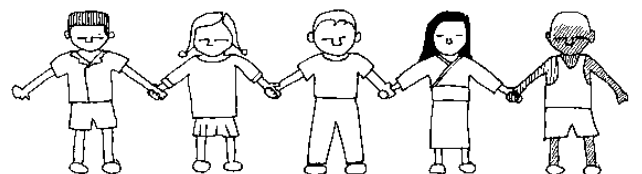
<Sidewalk Cafe>

今年は土曜日と日曜日の2日間だけの開店でした。

なんと言っても、ハイライトはカウンター内での寿司作りデモンストレーションでした。レストラン「わらじ」のオーナー「マサさん」が自らのてさばきで日本の味を演出してくれました。新しい試みでデザートは抹茶とあづきのアイスクリーム、それに「焼き鳥」を従来の「お好み焼き」「枝豆」「玄米茶」などのメニューに加えました。アイスクリームは当初100人分ほどを予定していましたが、なんと300人分も売れてしまい、急遽買い足しなどうれしい悲鳴を上げました。一時「焼き鳥」と「お好み焼き」を作るタイミングが悪く、硬くなったり焦がしたりしてしまったことなどは来年度の課題です。

Cafe プロジェクトは緒方愛さんを中心に企画運営されました。諏訪さん、根木さん、河邊さんなど、数年来常連で手伝ってくださる方々やたくさんの方々の高校生の方々など熱心なボランティアの皆さんのおかげで、終始楽しく出来ました。特に女生徒のゆかた姿は「可愛い」と評判でした。

ふり返ってみれば、今年プログラムにはいくつかの新しい試みが盛り込まれ、随所で改善が見られました。その反面、去年と同じ失敗もありました。これらを基に、来年度にはさらにいいものにしていきたいと思っています。



「ユカタを着てみて」

Dee Stuckey さんからのメッセージ

インターナショナル・フェスティバルの日本ブースに立ち寄り、私の娘 Savannah Hall とその仲良しの友達 Jurate Sorenson は日本のユカタを着てみました。二人は共に8歳で、あまり上手には自分の感想を述べられてはいないとは思いますが、こう語っています。

「ユカタは好き？」という質問には、二人とも「好き」と答えています。Jurate は「だってユカタは Pretty だから」と、Savannah は「ユカタを着てみるのは面白いから」だそうです。「着てみて窮屈な感じはしなかった？」答えは「No」。

「ユカタを着てみた時にどんな感じがした？」には、Jurate は「Good、ドレスを着たときみたいだった」、Savannah は「Okey」だそうです。

「また機会があったら着てみたい？」にはどちらも「Yes」で、Jurate は「だって面白いから」と言っています。

二人にとっては色鮮やかなユカタを着てみて、しかもその写真まで撮ってもらったことは楽しい経験だったと思います。もちろん仲良しの友達二人と一緒にしたことですから……。写真と一緒に写っている Chinese Parasol はその直前に購入したばかりのもので、ユカタと一緒におしゃれを楽しむことができ、大変良かったと思います。ユカタを着てみる機会を提供し、しかもその写真を撮ってあげるとするのはインターナショナル・フェスティバルの素晴らしいアイデアだと思います。女の子達にとっても、我々親たちにとっても楽しい体験でした。それだけでなく同じブースで行われていた「折り紙」も二人は十分楽しんだようで、たくさんの「折り紙作品」を宝物のようにして家に持ち帰りました。本当にフェスティバルを楽しませてもらい、ありがとうございました。

EDITORIAL

日本の運動会

Leah Cooper

1999年の秋、私は豊島園で開かれたホストファミリーの「運動会」なるものに参加しました。16歳の時この豊島園は一度訪れたことがありましたが、21歳となった今回はこの遊園地の違った面を体験することが

できました。電車を降りて木々の間を抜けると広場に出ました。そこには白いテントが張られ、その下にはホストファミリーの「お父さん」の会社の人達の家族が大勢、折りたたみ椅子に座っていました。自分達の座る場所を見つけてまもなく、茶色の草が生えた運動場で当日のイベントが開始されました。いろいろな面白い競技や真剣な競技などが盛り込まれた長い一日でした。

私が好きだったのは、小さい子供達が参加する競技でした。各人がおもいおもいばらばらのくせに、やる気は十分で、小さい足が舞い、赤らんだほおがいっぱいでした。私はそれほど早いランナーではありませんが、それでもレースにでました。中学生のころの体育の日を思い出しましたが、その時は各寮ごとに競いましたが、今回はホストファミリーの代表として走りました。「お母さん」とホストシスターは二人三脚でがんばりました。

その一日はテントの陰で食べたり飲んだりして過ごしました。競技の見学の合間には家族と冗談を言い合ったり、「お父さん」の会社のひとやその子供達に紹介されたりしました。後ではホットドッグやハンバーガーがグリルで焼かれました。

まもなくプログラムも一段落して、私とホスト姉妹はお小遣いをもらって遊園地の探索にでかけました。すがすがしい午後の遊園地の雰囲気や賑わいぐらい子供時代を思い出させるものは他にはないでしょう。どんな乗り物も試したくなりますし、また列にならんで待っている間ですらおしゃべりと笑いを引きだします。私にとって忘れられないのは、遊園地の中をいっぱいうねって走っていたジェットコースターでした。ほぼ地面に垂直に軌道からぶらさがって一番高いところまで運ばれ、一瞬だけ豪華に紅葉した木々の眺めを楽しむ間もなく、轟音とともにそれら木々の下まで一気に降下します。顔に当たる新鮮な突風、悲鳴と笑い声が混ざった音が耳を打ちます。

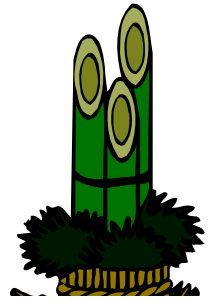
日が沈むころになって家族の許へ戻り、持ち物をまとめ、それから花火の鑑賞です。日本の花火は、ユニークな色の変化を楽しむだけではありません。その形の変化もうっとりするほど魅惑的です。「花火」という文字があらわすように、濃紺の空にそれこそ完全な花が開花したように開きます。

「お父さん」の会社の「運動会」に参加して素晴らしいことは、ホストファミリーの家族の一人として、あるいは姉妹の一人として自分を感じることができたことでした。丸一日、食べて、身体を使って、帰りの電車の中ではぐっすり寝込んでしまったのも当然です。降りる駅に着いた時には、自分の子供時代と同じに、「お父さん」「お母さん」にやり起こされる破目になってしまいました。

December 2004



Nippon Club of the Triangle NEWSLETTER



New Year's Mochi Festival on January 2nd

**Date/Time: January 2nd on Sunday shine or rain
registration begins
at 12:30pm**

**Location: North Carolina Japan Center
705 Barbour Dr. Raleigh, NC 27603**

**Admission: free for the members and members' guests
Registration: Toshikazu Mizobuchi mochi2005@aol.com
Mochitsuki: 1)1pm, 2)1:45pm, 3)2:30pm**

**If you plan to attend mochitsuki,
sign up via email
by December 26 and let us know:
- your name and the number of participants
- the time you plan to participate in Mochitsuki**

We will try to prepare enough toppings for you and your guests for each Mochitsuki.

We also would like to update membership for The Nippon Club so check in at the registration desk on January 2nd. We will accept the registration of new members at Mochitsuki. If you prefer to register or update your membership through online, then go to our website at <http://trianglejapanclub.org/>. There is no fee requested. Members are able to obtain information of club's activities and events by newsletter, web or mailing list.

"The Nippon Club in no way limits membership to Japanese; it warmly welcomes all those who endorse its goals"

**Hosted by: The Nippon Club of the Triangle
Facility provided by: NC Japan Center**

CLUB NEWS

★ Communications

New Nippon Club Home Page and Mailing List

The Nippon Club Home Page has moved! Please update your bookmark. The new page can be found at:
<http://trianglejapanclub.org/>

On the web page we will post pictures and other articles that did not make it to the newsletter.

Also, check out the links page! If you have articles or ideas that you would like to contribute, please send them to our email address. The club's email address is
triangle_nippon_club@yahoo.com

We also have an electronic mailing list. It is for exchanging your opinions on Japan, the US, North Carolina, or a variety of other topics from your daily life via email. The easiest way to subscribe to the Triangle Nippon mailing list is to use the online registration form on the Nippon Club Home Page, but if you prefer, you may also send your request to
trianglejapan-subscribe@yahoogroups.jp

We look forward to hearing from you!

Akio Miura is the webmaster, in charge of email address and the mailing list.

★ Adopt-A-Highway

Adopt-A-Highway Action on Saturday January 22nd

All Nippon Club members, age 16 and over, are invited to join in our next Adopt-A-Highway” action on Saturday, January 22, at our assigned section of Glenwood Avenue/US-70. Many hands make light work, and a large number of volunteers will help us to do an especially good job of cleaning up our portion of Glenwood Avenue. Please assemble at our regular stating location, at Westborough Drive across from Eatman’s Carpets (8101 Glenwood) about 9:15 AM. The clean up action will start at 9:30 and should be finished in two hours. Beverages and snacks will be provided afterwards.

Please be a part of this community service event. Volunteers must be 16 years of age or older to participate. Bring work or garden gloves. Long trousers or slacks are recommended. We will see you there!

Mr. Moyer coordinates A-A-H action and also is in charge of Cultural Affaire of Nippon Club.

★ New Officer

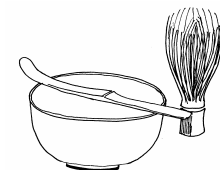
Hideko Tsurumi

Greetings.

I will be in charge of Triangle Cha-no-Yu Club (TCC) of The Nippon Club, taking over Ms. Chizuko Sueyoshi. During the past year since the establishment, TCC has performed tea ceremony demonstrations at locations including Nc State, UNC, Duke, Enloe High School, Githens Middle School. I am hopping the TCC will be able become to involve in the Triangle community through our activities.

I am looking forward to seeing all of you.

<<Ms. Chizuko Sueyoshi, thank you for your contributions to TCC and International Festival of Raleigh 2004. Ms. Tsurumi, new officer of The Nippon Club, is also the president of TCC since its start in August 2003. With the increase of requests through The Nippon Club, TCC often performs demonstration in local schools.



EDITORIAL

<Try on Yukata>

Message from Savannah's mother

The girls names are Jurate Sorenson and Savannah Hall (Chinese-American). They are both 8 years old.

Do they like Yukata? Both liked it. Jurate said "Yes, because it was so pretty." Savannah said "Yes, because it [dressing up] was fun."

Was it comfortable to move? Yes

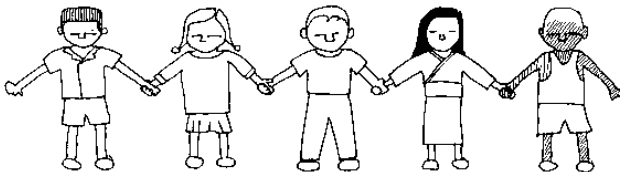
How did they feel when they wore Yukata? Jurate said, "Good, it felt like a dress" Savannah said "It felt okay."

If there is another chance to wear Japanese Yukata, do they want to try on? Both girls said yes and Jurate said "Yes, because it is fun."

At their age, they are not very descriptive in their reactions but they know what they like. I think it was fun for both of them to dress up in the colorful Yukata and then get to see their picture, especially since they were doing it together. They had just purchased their Chinese parasols and dressing up in the Yukata gave them a good opportunity to use the parasols too.

I think giving the opportunity for dressing up in the Yukata and having a picture taken is a wonderful idea for the festival and made it a fun experience for the girls and parents. Both girls really enjoyed the origami also and spent a long time watching and brought home handfuls of origami treasures.

Thanks again for the fun time at the festival!
Dee Stuckey (mother of Savannah)



Undo-kai

Leah Cooper

In the Autumn of 1999 I attended my host family's Undo-kai at Toshimaen. I had been to Toshimaen before, at the age of 16, but now at 21 I was experiencing a different side of the amusement park. We get off the train and take a less traveled entrance through the trees and come out upon a clearing. Families from Papa's company sit on folding chairs beneath white tents. We find our spot and look out across the brown grass of the athletic field where soon the events begin. The day is long with serious events and fun races.

My favourite races are those of the very small children, they are totally uncoordinated and full of determination, little legs blurring, cheeks glowing. I take part in a race myself, although I'm not strong in sprinting. It reminds me of my middle school athletics days where we were split up into our "houses", only instead I am competing for my host family. Mama and my host sister do well in the three-legged race. The day is spent eating and drinking in the shade of the tents. When I am not watching the continuous string of athletics, I am joking with my family, and being introduced to Papa's colleagues and their children. Later in the day hot dogs and hamburgers go on the grill.

Soon the day cools a little and my host siblings and I are sent with money in hand to enjoy some rides in the main park. Not many things bring one back to childhood like a crisp afternoon among the sights and sounds of an amusement park. Every ride is worth trying and the minutes spent waiting in queue are full of chatter and laughter. The most memorable for me is the rollercoaster which winds throughout the park. We hang on the track, almost vertical to the ground, and reaching the highest point of the ride, pause with a glorious view of red and gold leaves. Then we zoom beneath the tree line, fresh air blasting our faces. The sound of mingled voices and laughter roars in my ears.

When finally the sun begins to set on the day, we return to our family and gather up our belongings. But we stay for the fireworks. In Japan fireworks are not only a unique variety of colors, but the shapes are captivating. Hanabi lives up to its name with flower after perfect flower blossoming in the deep blue sky.

What stood out for me on the day of Papa's company's Undo-kai was the feeling of family and of being one of the children. After such a full day of family, exercise and eating, I am quite sure I fell asleep on the train returning home. But just as when I was a child, that night I had parents to wake me once we reached our stop.



Triangle Japan Club

Nippon Club of the Triangle
705 Barbour Dr. Raleigh, NC 27603
<http://trianglejapanclub.org/>